パワードマルチメディアスピーカー

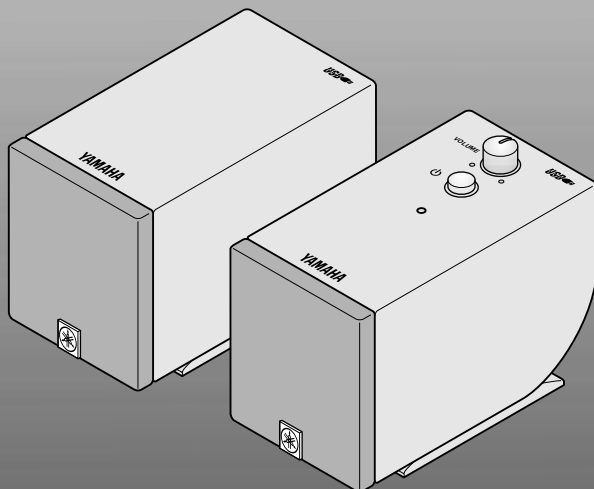
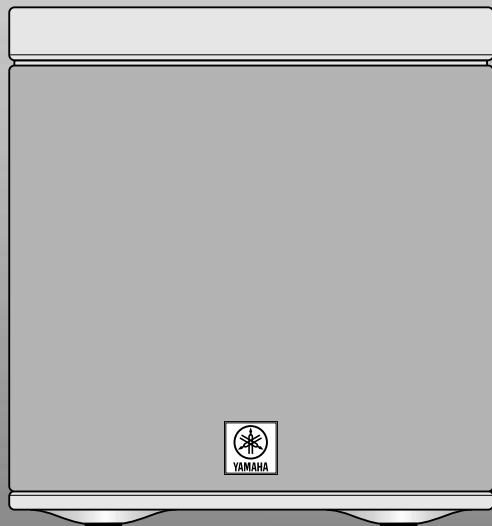
YST-MS35D

POWERED MULTIMEDIA SPEAKERS

取扱説明書

このたびは、YAMAHA パワードマルチメディアスピーカーYST-MS35Dをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
YST-MS35Dの優れた性能を充分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

● ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

● この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

絵表示	説明
	気をつけなければならない内容を表しています。たとえば⚠は「感電注意」を示しています。
	してはいけない行為を表しています。たとえば🛇は「分解禁止」を示しています。
	必ずしなければならない行為を表しています。たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示	内容
	● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグを抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	● 万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 本機を水にぬらさないようにご注意ください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続したり、表示された電源電圧交流１００V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	● 風呂場で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機を水滴などが落ちる場所に設置しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となったり、ケガをする恐れがあります。
	● 本機の上に陶器やガラス類などを置かないでください。振動により落ちたり、倒れたり、割れたりすると、ケガをする恐れがあります。
	● 本機の上に火のついたローソクなどを置かないでください。火災・感電の原因となったり、火傷をする恐れがあります。
分解禁止	● キャビネットをあけたり、分解したりしないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
分解禁止	● 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 万一、本機を落としたり、損傷した場合は、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● スピーカーは防磁設計となっていますが、コンピューターのモニターやテレビの近くに設置すると画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。

● 付属のACアダプターを机などの上に置く場合は、落下することのないよう必ず固定してください。もし落ちた場合、アダプターや他の機器の破損だけでなく、けがをする原因にもなります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 加湿器を使用する場合は、本機との間に十分なスペースをとり、加湿しすぎないようにしてください。結露すると、本機が故障するだけでなく、火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機を設置する場合は、壁から十分な間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。
- 接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
- 電源プラグを接続する前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。本機が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

ご使用上の注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

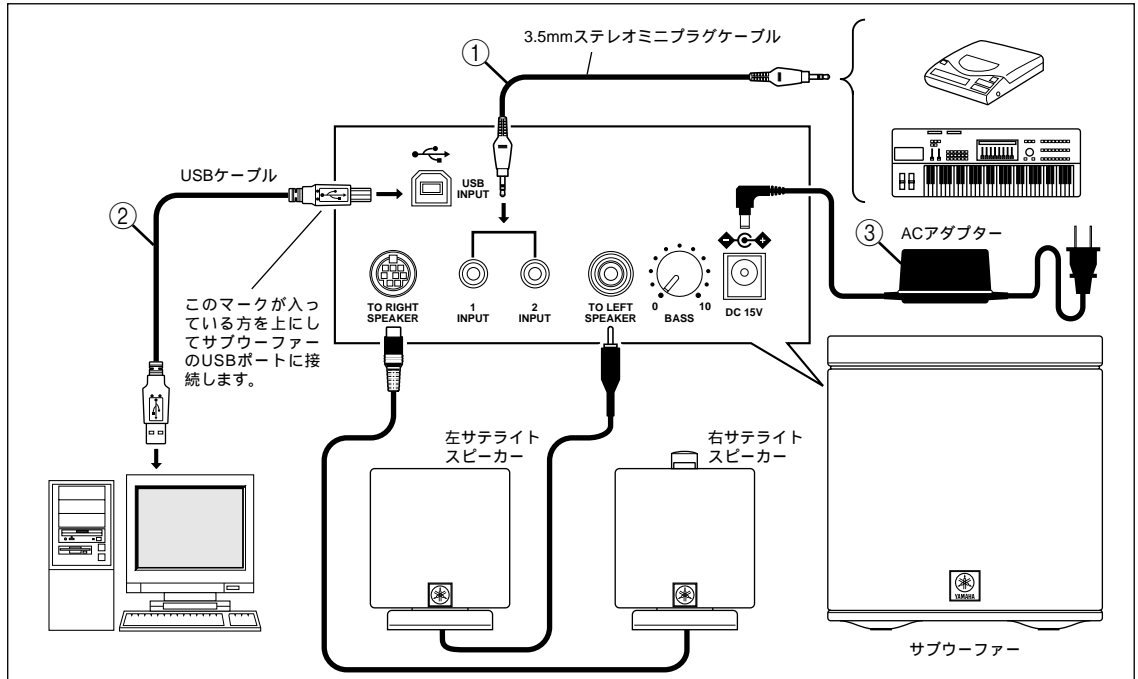
- 本機のつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。
- テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。本機の破損の原因となります。
- 本機は防磁設計となっていますが、コンピューターのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。
- 故障と思われるときは、ただちに使用をやめ電源プラグを抜いてください。
- フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。
- ⏻(スタンバイ/オン)スイッチがオン(インジケーターが点灯)になっているときは、電源プラグを抜かないでください。
- **お手入れについて**
  汚れは軟らかい布で拭き取ってください。
  ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると、変質したり、塗料が剥げることがありますので使用しないでください。
  また、接点復活剤はご使用にならないでください。接点復活剤はプラスチック部品を溶解します。

目　次

はじめに

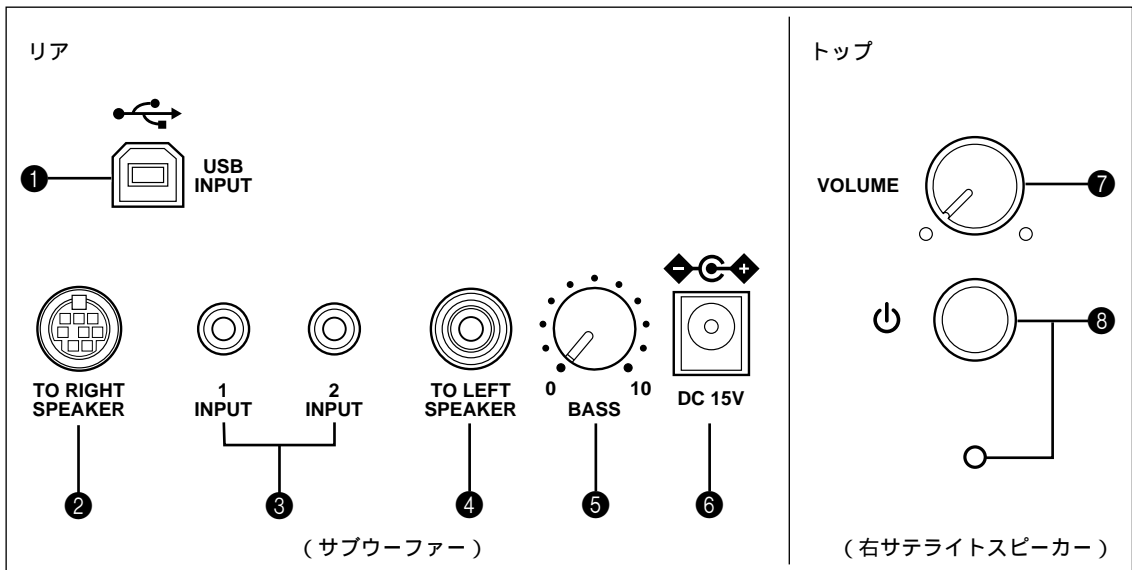
YST-MS35Dパワードマルチメディアスピーカーシステムはアドバンスド・ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジーを駆使し、すぐれたパフォーマンスで、コンパクトながら豊かな低域サウンドを実現します。またUSB(ユニバーサル・シリアル・バス)テクノロジーを採用しているため、従来のマルチメディアスピーカーより格段に優れた、ノイズや歪みの少ないクリアなサウンドを提供いたします。
YST-MS35Dスピーカーは、左右のサテライトスピーカーとサブウーファーから構成されています。

ご注意:USBケーブルで本機とコンピューターを接続する前にデバイスドライバのインストールをしてください。

パッケージ内容物に損傷がないか確認してください。同梱されていない品目または損傷のある場合は、本機をお買い求めの販売店にご連絡ください。

① 3.5mmステレオミニプラグケーブル×1(付属)
② USBケーブル×1(付属)
③ ACアダプター×1(付属:PA-M30)

※ パッケージには、サテライトスピーカー底面貼付用のすべり止めパッド8枚も同梱されています。

ご注意:必ず付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターの使用は本機の故障や火災の原因となります。

コントロール部と端子

❶ **USB INPUT**（ユーエスビー インプット）
付属のＵＳＢケーブルを使用して、このポートとコンピューターのUSBポートを接続します。

❷ **TO RIGHT SPEAKER**（トゥ ライト スピーカー）
右サテライトスピーカーの8ピンプラグケーブルをここに接続します。

❸ **INPUT 1/2**（インプット）
スピーカーシステムへ信号を入力します。
1と2の端子に同時に接続することにより、2系統の信号を入力することができます。たとえば、CD-ROMプレーヤーとコンピューター本体の出力をそれぞれ入力端子に接続できます。ただし、信号はミックスされます。

❹ **TO LEFT SPEAKER**（トゥ レフト スピーカー）
左サテライトスピーカーのRCAピンプラグケーブルをここに接続します。

❺ **BASSコントロール**（バス（ベース））
サブウーファーの音量を調整します。
音量はお好みにより調整できますが、通常は、1時〜2時の位置で使用することをお奨めします。
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

❻ **DC端子**（ディーシー）
付属のACアダプターを接続します。通常の操作は右サテライトスピーカーの⏻（スタンバイ／オン）スイッチを使用してください。

❼ **VOLUMEコントロール**（ボリューム）
スピーカーシステム全体の音量を調整します。
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

❽ **⏻（スタンバイ／オン）スイッチ／インジケーター**
スイッチを押すと電源が入り、インジケーターが点灯します。もう一度スイッチを押すとスタンバイ状態になります。
スイッチを押す前にVOLUMEコントロールの音量が小さくなっているか確認してください。
スタンバイ状態でもわずかな電力が消費されています。

USBデバイスドライバのインストール

本機とコンピューターをUSBポート経由で接続して使用する場合、コンピューター側に以下のソフトウェアをインストールする必要があります。

◆ **USBデバイスドライバ:**周辺機器を制御するための基本ソフトウェア .... OSに標準搭載のものを使用。

ここでは、各ソフトウェアをコンピューターにインストールする方法およびその他の設定について説明します。
インストール方法は、ご使用のコンピューターに搭載されたOS(オペレーティングシステム)によって異なります。
ご使用のOSにあった説明をお読みください。

インストール前の準備

● インストールを始める前に、必ずコンピューターをシステム終了しておいてください。また、コンピューターと本機を接続するUSBケーブルは接続しないでおいてください。

● インストールを始める前に、下記、「動作環境の確認」を参照して、ご使用のコンピューターが本機に対応しているかどうかをお調べください。
「動作環境」とは、コンピューターと本機をUSBポート経由で接続する場合に必要な仕様をまとめたものです。
ご使用のコンピューターがこの条件を満たさないときでも、コンピューターのオーディオ出力端子を入力ソースとして利用できます。

● ご使用のコンピューター環境によっては、インストールの途中で、OSインストール用のCD-ROMが必要になることがあります。あらかじめお手元にご用意ください。

● ご使用のコンピューター環境によっては、インストール方法が記載の手順と異なる場合があります。この場合は、表示されるダイアログボックスの指示に従ってください。また、ご不明な点については、コンピューターメーカーまたはコンピューター販売店にお問い合わせください。

動作環境の確認

付属のアプリケーションソフトウェアを使用するには、以下の環境が必要です。

Microsoft Windows 98 (98SE)、Windows Me、またはWindows 2000 Professionalをご使用の場合

● **オペレーティングシステム(OS)**
Microsoft Windows 98 (98SE)、Windows Me、またはWindows 2000 Professional

● **コンピューター本体**
USBポートを装備し、上記OSがプリインストールされたパーソナルコンピューター

Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Macintosh コンピューターをご使用の場合

● **オペレーティングシステム(OS)**
Mac OS 9.0.4 以降(USB driver Ver.1.4 以降)

● **コンピューター本体**
USBポートを標準搭載したMacintoshコンピューター

Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。

インストールのしかた

Microsoft Windows 98 (98SE) またはWindows Meをご使用の場合

■USBデバイスドライバのインストールと確認

1 Windows 98 (98SE)またはWindows Meを起動させます。

2 本機の電源プラグを接続します。
このとき、必ずしも本機の電源がオンになっている必要はありません。

3 USBケーブルを使って、コンピューターと本機のUSB端子を接続します。
新しいハードウェアとして本機が自動的に検出され、必要なデバイスドライバがインストールされます。モニターに表示されるダイアログボックスの指示に従って操作をおこなってください。なお、お使いのコンピューター環境によってはWindowsのCD-ROMが要求されることがあります。この場合は、ダイアログボックスの指示に従ってCD-ROMを入れ替えてください。
＊ ご使用のコンピューターの環境によっては、デバイスドライバのインストールに時間がかかる場合があります。デバイスドライバのインストールのダイアログが消えたあと、そのまま1～5分お待ちください。

インストールが済んだら、デバイスドライバが認識されているかどうかを確認してください。

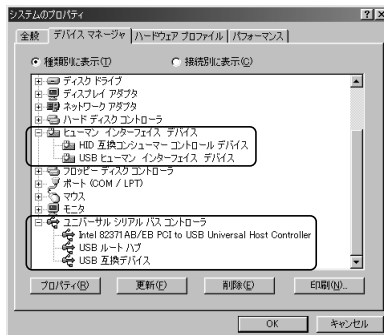
4 ［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］の順に選んで「システム」のアイコンをダブルクリックします。

5 「デバイスマネージャ」のタブをクリックします。このとき、「種類別に表示」が選択されていることを確認してください。

6 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の先頭にある「＋」のマークをクリックしてリストを開き、「USB オーディオデバイス」が認識されていることを確認してください。

＊ 画面はWindows 98のものです。

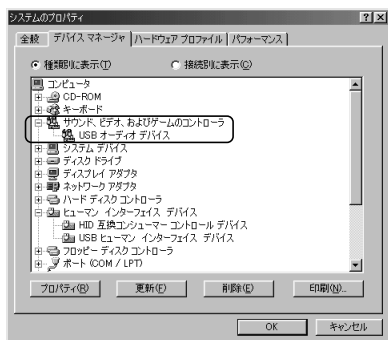
＊ Windows Meをご使用の場合、「USB互換デバイス」の前に緑色で「？」が表示されることがあります。これはジェネリックID（OSに付属のもの）でインストールされたことを示すもので、そのままご使用いただけます。

7 同じように「ヒューマン インターフェイス デバイス」のリストの中に「HID互換コンシューマーコントロールデバイス」および「USBヒューマンインターフェイスデバイス」が、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」のリストの中に「USB互換デバイス」がそれぞれ認識されていることを確認してください。

＊ 画面はWindows 98のものです。

ご注意：

● リスト内のその他の項目は、ご使用のコンピューター環境に応じて異なる場合があります。

● デバイスの先頭に「!」「？」のマークが表示される場合は、以下の各項目を確認してください。
① USBケーブルはしっかり接続されていますか？
② 本機の電源プラグは接続されていますか？

● 上記のデバイスが認識されていない場合は、USBケーブルを1回抜き差しして、再度デバイスドライバの自動インストールを試みてください。それでも改善されない場合は、Windowsを再起動してください。

デバイスドライバのインストールが完了したら、コンピューターにて以下の設定および確認をおこなってください。

オーディオおよび音楽CDの設定
【Windows 98(98SE)のみ】

＊ 再生ソフトは全て終了させてください。

＊ Windows 98SEをご使用の場合は、ここでWindowsを再起動します。

1 [スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで「マルチメディア」のアイコンをダブルクリックします。

2 [オーディオ]のタブにて[再生]の優先するデバイスを「USBオーディオデバイス」にします。
＊ 通常は自動で設定されます。
＊「USBオーディオデバイス」が表示されない場合はWindowsを再起動します。

3 「音楽CD」のタブをクリックします。ここで、音楽CDを再生するCD-ROMドライブを選択し、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスにチェックを入れます。
＊ ご使用のCD-ROMドライブによってはデジタル音楽に非対応のものがあり、その場合はチェックすることができません。

4 OKを押して「マルチメディア」の設定パネルを閉じます。

5 Windowsを再起動します。

ご注意：複数のドライブをお使いの場合は、それぞれについて上記の設定をおこなう必要があります。

オーディオの設定確認
【Windows Meのみ】

1 [スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで「サウンドとマルチメディア」のアイコンをダブルクリックします。

2 [オーディオ]のタブにて[再生]の優先するデバイスを「USBオーディオデバイス」にします。
＊ 通常は自動で設定されます。
＊「USBオーディオデバイス」が表示されない場合はWindowsを再起動します。

音出し確認および音量調整
【Windows 98(98SE)、Windows Me共通】

1 本機で以下の操作をします。
a) ⏻(スタンバイ／オン)スイッチを押して電源をオンにします。
b) ボリュームダイアルを回して音量を調節します。

2 コンピューター側にて以下のように音量設定をおこないます。
a) タスクトレイにあるスピーカーアイコンをダブルクリックするか、または[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]の順に選んで「ボリュームコントロール」をクリックすると音量調整画面があらわれます。
b) スライダーにて音量を調節します。中央からMAXまでの間に設定します。
＊ ミュートをチェックすると音が出なくなりますので注意してください。

3 [スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで「サウンド(Windows Meの場合はサウンドとマルチメディア)」のアイコンをダブルクリックします。

4 「サウンド」タブの「音を鳴らす場面」から「一般の警告音」等をテスト出力して、本機から正常に音が出るかどうかを確認してください。

＊ 音出し確認にて音が出ない場合は、Windowsを再起動して再度確認してください。

■ デバイスドライバのインストールと確認

1 Windows 2000 Professionalを起動させ、administratorでログインします。

2 本機の電源プラグを接続します。
このとき、必ずしも本機の電源がオンになっている必要はありません。

3 USBケーブルを使って、コンピューターと本機のUSB端子を接続します。
新しいハードウェアとして本機が自動的に検出され、必要なデバイスドライバがインストールされます。
＊ ご使用のコンピューターの環境によっては、デバイスドライバのインストールに時間がかかる場合があります。デバイスドライバのインストールのダイアログが消えたあと、そのまま1～5分お待ちください。

インストールが済んだら、デバイスドライバが認識されているかどうかを確認してください。

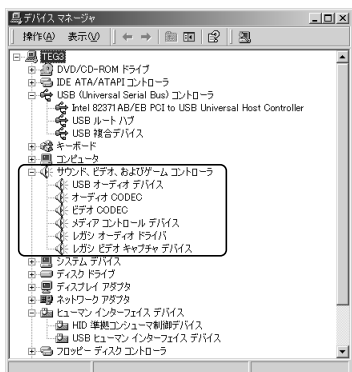
4 ［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］の順に選んで「システム」のアイコンをダブルクリックします。

5 「ハードウェア」のタブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。このとき、「表示（V）」の「デバイス（種類別）」が選択されていることを確認してください。

6 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の先頭にある「＋」のマークをクリックしてリストを開き、「USB オーディオデバイス」が認識されていることを確認してください。

7 同じように「ヒューマン インターフェイス デバイス」のリストの中に「HID準拠コンシューマ制御デバイス」および「USBヒューマンインターフェイスデバイス」が、「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」のリストの中に「USB複合デバイス」がそれぞれ認識されていることを確認してください。

ご注意：

- リスト内のその他の項目は、ご使用のコンピューター環境に応じて異なる場合があります。
- デバイスの先頭に「!」「？」のマークが表示される場合は、以下の各項目を確認してください。
  ① USBケーブルはしっかり接続されていますか？
  ② 本機の電源プラグは接続されていますか？
- 上記のデバイスが認識されていない場合は、USBケーブルを1回抜き差しして、再度デバイスドライバの自動インストールを試みてください。それでも改善されない場合は、Windowsを再起動してください。

デバイスドライバのインストールが完了したら、コンピューターにて以下の設定および確認をおこなってください。

オーディオおよび音楽CDの設定

1 [スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで「サウンドとマルチメディア」のアイコンをダブルクリックします。

2 [オーディオ]のタブにて[再生]の優先するデバイスを「USBオーディオデバイス」にします。
＊ 通常は自動で設定されます。

3 [ハードウェア]のタブの[デバイス]の中のお使いのDVDまたはCD-ROMの項目をダブルクリックします。

4 「プロパティ」タブを開いて、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスにチェックを入れOKします。
＊ ご使用のCD-ROMドライブによってはデジタル音楽に非対応のものがあり、その場合はチェックすることができません。

5 Windowsを再起動し、administratorでログインします。

ご注意:複数のドライブをお使いの場合は、それぞれについて上記の設定をおこなう必要があります。

音出し確認および音量調整

1 本機で以下の操作をします。
a) ⏻(スタンバイ／オン)スイッチを押して電源をオンにします。
b) ボリュームダイアルを回して音量を調節します。

2 コンピューター側にて以下のように音量設定をおこないます。
a) タスクトレイにあるスピーカーアイコンをダブルクリックするか、または[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]の順に選んで「ボリュームコントロール」をクリックすると音量調整画面があらわれます。
b) スライダーにて音量を調節します。中央からMAXまでの間に設定します。
＊ ミュートをチェックすると音が出なくなりますので注意してください。

3 [スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで「サウンドとマルチメディア」のアイコンをダブルクリックします。

4 「サウンド」タブの「音を鳴らす場面」から「一般の警告音」等をテスト出力して、本機から正常に音が出るかどうかを確認してください。

＊ 音出し確認にて音が出ない場合は、Windowsを再起動して再度確認してください。

Macintosh コンピューターをご使用の場合

■ 接続とセットアップ

1 本機の電源プラグを接続します。

2 Macintoshを起動させます。

3 USBケーブルを使って、Macintoshと本機のUSB端子を接続します。
USBオーディオのドライバが自動的にインストールされます。

4 ⏻(スタンバイ／オン)スイッチを押して本機の電源をオンにします。

音出し確認および音量調整

1 本機フロントパネル上で以下の操作をします。
a) ⏻(スタンバイ／オン)スイッチを押して電源をオンにします。
b) ボリュームダイアルを回して音量を調節します。

2 Macintosh側で、[コントロールパネル]の「サウンド」にて「警告音」等をテスト出力して、本機から正常に音が出るかどうかを確認してください。

3 [コントロールパネル]の「サウンド」のスライドバーにて音量を調節します。中央からMAXまでの間に設定します。

ご注意:

● サウンドの出力先はコントロールパネルの「サウンド出力装置の選択」からは変更できません。Macintosh内蔵のスピーカーをご利用になる場合は、本機とMacintoshを接続しているUSBケーブルを抜いてください。

● 本機をUSB接続した状態でヘッドホンをご利用になる場合は、Macintosh側のヘッドホン端子ではなく、本機のヘッドホン端子をご利用ください。

● Macintoshの電源を入れたときに出力される起動音は、USBオーディオが有効になる前に再生されます。そのため、この起動音をUSB経由にて再生することはできません。起動音を本機から再生するためには、別にアナログ接続が必要となります。Macintoshと本機をUSB接続に加えアナログ接続することで、起動音も本機から再生できます。
(アプリケーションのセットアップパネルにてUSBミックスをオンに設定すると、アナログ経由の音とUSB経由の音を、インプットセレクターの変更無しにMIX再生することができます。)

USBに対応していないシステムへの接続

従来のマルチメディアスピーカーと同様に、アナログオーディオ信号を本機のサブウーファーのリアパネルにあるINPUT 1と2(3.5mmステレオミニプラグ入力端子)に入力することができます。(たとえばポータブルCDプレーヤーやサウンドカードからの出力を接続します。)
コンピューターのゲーム等を楽しまれる場合、ゲームソフトによってはUSBに対応していない場合があります。そのようなときは、3.5mmステレオミニプラグケーブルをサブウーファーのリアパネルにあるINPUT 1または2とお使いのコンピューターの音声出力端子につないで、お使いのサウンドカードに合わせて設定してください。(設定方法については、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照するか、お買い上げのコンピューター販売店にご相談ください。)

YST-MS35D スピーカーシステムの使い方

音量、低域、高域の調整

先にお使いになられているソフトウェア(Windows98のボリュームコントロールパネル等)で音量、低域、高域の設定を行ってください。設定後、音量は右スピーカーのVOLUMEコントロールで調整できます。

故障かな？と思ったら

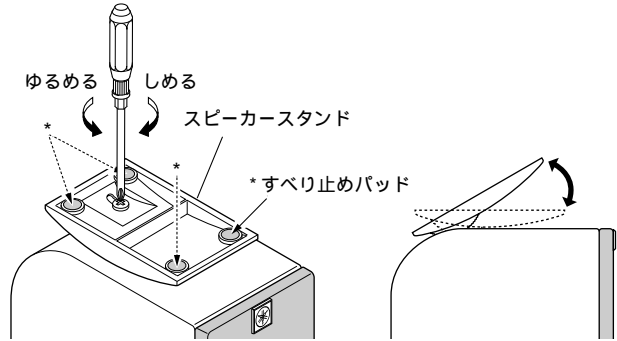
下の表にしたがってもう一度確かめてみてください．そのうえで正常に動作しないあるいは下記以外の何か異常が認められる場合は、本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお問い合わせの上サービスをご依頼ください。

問　題	原　因	対　策
コンピューターに「不明なデバイス」と表示される。	ＵＳＢケーブルがしっかり接続されていない。	ＵＳＢケーブルを本機とコンピューターから外し、もう一度しっかり接続し直してください。また本機の電源を入れ直してください。
	ＵＳＢデバイスドライバのインストールの手順を正しく行わなかった。	電源プラグを抜き、USBケーブルを抜いてからもう一度電源を入れてください。それでも認識されない場合はUSBデバイスドライバーを再インストールしてください。
スピーカーからサウンドが聞こえない。	電源プラグがしっかり接続されていない。	電源プラグをしっかり接続してください。
	⏻（スタンバイ／オン）スイッチがスタンバイになっている。または電源プラグが抜かれている。	電源プラグをしっかり接続し、⏻（スタンバイ／オン）スイッチをオンにしてください。
	音量が最小になっている。	ＶＯＬＵＭＥコントロールを右に回して音量を上げてください。
	入力信号レベルが低すぎる。	接続機器の音量を上げてください。
	接続が不良。	接続をもう一度しっかりやり直すか、別の接続ケーブルを使ってください。
	高速データ転送に対応していないＵＳＢケーブルを使用している。	付属のＵＳＢケーブルまたはそれに相当する高速対応のＵＳＢケーブルを使用してください。
再生中に音がとぎれる。	他のアプリケーションの影響を受けている。	他のアプリケーションを終了させてください。
サウンドが歪む。	入力信号レベルが高すぎる。	接続機器の音量を下げてください。
ノイズが気になる。	接続が不良または不十分。	接続をもう一度しっかりやり直すか、別の接続ケーブルを使ってください。

ご注意：ＵＳＢポートは精密部品ですので取り扱いに注意してください。ＵＳＢプラグを強く押し込むと端子が損傷することがあります。

ご注意：オペレーティングシステム（Windows９８/９８ＳＥ/Ｍe、Macintosh等）に関する内容は、該当コンピューターの取扱説明書を参照するか、お買い上げのコンピューター販売店にお問い合わせください。

角度調整とすべり止めパッド

サテライトスピーカーの角度調整が可能です。設置状態が安定する範囲でお好みの位置に調整してください。
調整する際は、図のようにドライバー（＋）でネジをゆるめてスピーカースタンドを動かし角度を合わせてください。
スピーカースタンドの底面に付属のすべり止めパッドを取り付けてください。スピーカーが滑りにくくなり安定します。
安定した平らな面に設置して使用してください。

仕様

タイプ	アドバンスド・ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー方式
スピーカーユニット	
サテライト	5cm コーンタイプ、防磁型
サブウーファー	12cmコーンタイプ、防磁型
出力	
サテライトスピーカー	6W＋6W（1kHz、4Ω、10%T.H.D）
サブウーファー	18W（100Hz、4Ω、10%T.H.D）
入力感度	200mV（1kHz、6W／4Ω）
入力インピーダンス	20kΩ
再生周波数帯域	サテライト／サブウーファー　45Hz〜20kHz
クロスオーバー周波数	サテライト／サブウーファー　180Hz
信号入力端子	オーディオ信号出力用3.5mmステレオミニジャック×2 USBデジタル×1
定格電源電圧	AC100V、50/60Hz
寸法（幅×高さ×奥行き）	
サテライトスピーカー	65×75×119mm
サブウーファー	183×196×183mm
重量	
サテライトスピーカー	0.45kg（右）、0.36kg（左）
サブウーファー	2.3kg
付属品	ACアダプター（PA-M30）×1 3.5mmステレオミニプラグケーブル（1.8m）×1 USBケーブル（2m）×1 すべり止めパッド×8

※仕様は予告なく変更することがあります。

音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりするのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

お問い合わせ専用用紙

製品本体やコンピューターとの接続などご不明な点は、お買い上げの販売店または下記の項目を記載の上、
ヤマハUSBオーディオサポートラインまでEメールもしくはFAXにてお問い合わせください。

<table>
<tr><td colspan="3">ふりがな
お名前</td><td>製品名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>製造番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>ご購入年月日</td><td colspan="2">年　月　日</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="5">〒</td></tr>
<tr><td>ご連絡先電話番号</td><td>－　－</td><td colspan="2">ご連絡先FAX番号</td><td colspan="2">－　－</td></tr>
<tr><td>ご連絡先E-mailアドレス</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">使用環境について</td><td>コンピューターのメーカー、型番
（マザーボード名）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">コンピューターのCPU</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">容量</td><td>メモリ本体</td><td>MB</td></tr>
<tr><td>ハードディスク</td><td>GB</td></tr>
<tr><td colspan="5">同時に使用していたアプリケーションソフト（種類・ソフト名をご記入ください）</td></tr>
<tr><td colspan="5">その他の周辺機器・USB機器（種類、メーカー、品番をご記入ください）</td></tr>
<tr><td colspan="6">お問い合わせの内容（トラブル発生時の操作、状況、ご不明な点など具体的にご記入ください）</td></tr>
<tr><td colspan="6"></td></tr>
</table>

ヤマハUSBオーディオサポートライン
E-mail： USBAU__SUPT@avkk.yamaha.co.jp
FAX： (053) 460-2777

USB関連製品サポート窓口のご案内

製品本体やコンピューターとの接続などご不明な点は、お買上げの販売店または下記のUSB関連製品サポート専用窓口まで、お問い合わせください。

ヤマハUSBオーディオサポートライン
E-mail: USBAU_SUPT@avkk.yamaha.co.jp

保証とアフターサービスのご案内

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くのヤマハサービスセンターへお申し付けください。

●保証期間及び保証期間中の修理
保証期間はお買上げ日より1年間です。
保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきますので、保証書はよくお読みの上大切に保管ください。

●保証期間を過ぎているときの修理
修理によって製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
なお、補修用性能部品の最低保有年数は、製造打ち切り後8年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い
故障の場合は、お買上げ販売店、または最寄りのヤマハサービスセンターへお持ちくださるようお願い致します。また、修理ご依頼の際には、品番、製造番号と共に、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。（品番、製造番号は、製品の背面もしくは底面に記載しています。）

●修理料金について
修理料金には以下の料金が含まれます。
★技術料　診断、修理、部品交換、調整、点検などの作業に関わる費用です。
★部品代　修理に使用した部品や補助材料費です。
★出張費　お客様のご依頼により技術者を派遣する場合の費用です。

■ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

（ヤマハ電気音響製品サービス拠点）

北海道　〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙　台　〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏　〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100

浜　松　〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋　〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大　阪　〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広　島　〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787

四　国　〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店
TEL (087) 822 - 3045

九　州　〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

安全に末永くご愛用いただく為に愛情点検をお願いします。

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ欄	品番	お買上げ日	販売店名
	製番		TEL

■ヤマハAV製品のご購入に関するお問合せは

お客様ご相談センター
TEL：(03) 5488－5500（転送）
FAX：(053) 460－2777
住所：〒430-8650
浜松市中沢町10-1 ヤマハ(株)
AV･IT事業本部国内営業部
ご相談受付時間　10:00～12:00，13:00～17:00
（土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。）

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV国内営業部　TEL (053) 460－3451
AV･IT品質保証部　TEL (053) 460－3405
住所および電話番号は変更になることがあります。

Printed in China　IP　V770340